

# 議会だより

6月定例会

No.16

平成21年8月1日

発行 石川県志賀町議会

# しか

	ページ
議会の人事構成が決まる	2
今市橋の架替工事が完成	4
志賀高校の入学者数106人 どのように認識しているのか (一般質問)	8



遠足のおやつはおいしいね (とき保育園の小遠足)

# 議会の人事構成決まる

6月4日、定例会の初日、委員の任期満了に伴い、常任委員・議会運営委員の選任、新たに議員発議による議会中継調査特別委員会の設置・選任などが行なわれました。

また、原子力発電所対策特別委員会と生活環境等対策特別委員会で委員の一部所属替えおよび委員長互選が行われました。

(※常任委員会とは、多数の議案等を能率的かつ、専門的に処理するための委員会です。それぞれの部門の調査、議案・請願等の審査を行います。各委員会の委員の定数は6人ずつです。)



委員  
戸坂 忠寸計



副委員長  
林 一夫



委員長  
富澤 軒康



委員  
久木 拓栄



委員  
辻 武美



委員  
小田 芳治

**総務 常任委員会**  
総務課、富来支所、企画財政課、税務課、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管関係および他の委員会の所管にしないこと。



委員  
越後 敏明



副委員長  
寺岡 真貴子



委員長  
南 政夫



委員  
木村 正男



委員  
櫻井 俊一



委員  
田中 正文

**教育民生 常任委員会**  
住民課、子育て支援課、健康福祉課、生活安全課、富来病院、学校教育課、生涯学習課の所管関係。

# 産業建設 常任委員会

商工観光課、農林水産課、建設課、上下水道課、農業委員会の所管関係。



委員長  
橘 照茂



副委員長  
下池 外巳造



委員  
須磨 隆正



委員  
松浦 恒義



委員  
山本 辰榮



委員  
稲村 幸雄

## 議会運営委員会

議会の日程、議案・陳情等の取り扱いなど、議会の運営や議長の諮問に関すること。

## 特別委員会

常任委員会とは異なり、特定の事件の審査や調査を行うもので、必要と認めるときに議決によって設置します。

## 議会中継調査

### 特別委員会

議会中継のあり方など開かれた議会に向けての方策を調査検討。

委員長 松浦 恒義

副委員長 林 一夫

委員 小田 芳治

委員 辻 武美

委員 久木 拓栄

委員 木村 正男

委員長 松浦 恒義

副委員長 林 一夫

委員 南 政夫

委員 橘 照茂

委員 越後 敏明

委員 富澤 軒康

## 特別委員の変更

次の特別委員会で委員の辞任による所属替えおよび委員長互選が行われました。

◇原子力発電所対策特別委員会  
新委員長 辻 武美（前生活環境等対策特別委員長）

◇生活環境等対策特別委員会  
新委員長 林 一夫（前原子力発電所対策特別委員）

## 広報特別委員会

6月15日開催の委員会で橋委員長の辞任に伴い、正副委員長の互選が行われました。

新委員長 田中 正文  
新副委員長 富澤 軒康

## 監査委員を同意

辻監査委員（議会選出）の辞職に伴い、新たに小田芳治議員を選出することに同意しました。



小田 芳治 議員

## 県後期高齢者医療広域連合議会議員

林議員の辞職に伴い、選挙が行われました。選挙は指名推選で行われ、戸坂忠寸計議員が選出されました。



戸坂 忠寸計 議員

快適な住環境整備を促進

# 今市橋の架替工事が完成



今市橋の完成を祝って高浜保育園児がよさこいを披露しました。

6月定例会では、平成20年度各会計補正予算など専決処分の報告16件、条例の一部改正が4件、工事請負契約の締結5件、同意1件の計26件を審議し、それぞれ全会一致で可決・同意しました。

一般質問は2人の議員が町政の当面する課題について考えをただしました。

## 今年6月期の 議員の期末手当 0.15カ月のカット

国内の厳しい経済状況を考慮し、議員の今年6月期の期末手当の支給月数を現行より0・15カ月引き下げました。

支給月数が1・6カ月から1・45カ月になり、議員期末手当の合計で80万円を減額しました。

(全員賛成)

## 町職員・特別職 もカット

人事院勧告により国家公務員の6月期の期末・勤勉手当の支給月数を合わせて0・2カ月引き下げることになり、当町でも国と同様に一般職員の引き下げを行いました。

総額で2734万円の減額となりました。

また、町長・副町長・教育長の特別職の期末手当も0・15カ月引き下げ、56万円の減額となりました。

(全員賛成)

## 個人住民税で 住宅ローン 特別控除の創設

地方税の改正に伴い、町税条例の一部を改正しました。

町民税では、平成21年から平成25年までの入居者を対象に、所得税から控除しきれなかった住宅ローンについて9万7500円を限度に一定額を町民税から控除する住宅ローン特別控除を創設しました。

## 緊急の少子化対策 出産一時金 4万円引き上げ

そのほか、土地などの長期譲渡所得にかかる特別控除の創設、上場株式などの配当・譲渡益に対する軽減税率の3年間延長、固定資産税では、土地に対する税負担の調整措置の継続などの改正を行いました。(全員賛成)

今年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産した場合の出産一時金の額を4万円引き上げました。

今年1月から産科医療補償制度の創設に伴い、出産一時金が35万円から38万円になっていますが、これにより実質の支給額は42万円となります。

(全員賛成)

# 請負契約

◆領家漁港第2防波堤改良工事  
異形ブロック264個を製作し44mに渡り据え付ける。

石田工業(株)  
契約金額7800万円

## 公共下水道管路工事

◆中央末吉1工区  
末吉地内の760mで下水管を布設  
南建設(株)  
契約金額7028万円

## ◆中央末吉2工区

末吉地内の1175mで下水管布設  
西村建設(株)  
契約金額5008万円

## ◆中央81工区

大島地内の603mで下水管布設  
松谷建設(株)  
契約金額7572万円

## ◆東増穂3工区

里本江地内の851mで下水管布設  
寺井建設(株)  
契約金額4715万円

(以上5件全員賛成)

### 20年度各会計別補正後の総額

一般会計	156億8,371万円	
国保	27億4,616万円	
老人保健	3億3,460万円	
後期高齢者医療	2億8,212万円	
農業集落配水	7億386万円	
公共下水道	17億4,128万円	
地域し尿	4,359万円	
簡易水道	2,521万円	
介護保険	24億1,459万円	
ケーブルテレビ	12億8,004万円	
町立診療所	1億6,364万円	
水道	収益的収支	6億3,880万円
	資本的収支	6億2,425万円
病院	収益的収支	12億8,632万円
	資本的収支	1億6,834万円

(金額は1万円未満切り捨て)

## 平成20年度一般会計 補正予算

# 3億489万円の増額

### 財政調整・特別財政基金を積み立て

20年度の各会計補正予算は、事業費の確定及び精算等に伴うものであり、いずれも3月31日専決処分したものです。

一般会計では、地方交付税等の確定による増額分を財政調整基金や特別財政基金の積み立てに充て、歳入歳出それぞれ3億489万円を増額補正し、総額156億8371万円としました。

(全員賛成)

## 第2回臨時会

(7月17日)

## さらなる若者定住の促進を図るために

第2回臨時会では、一般会計補正予算、工事請負契約の締結および変更の議案4件が審議され、いずれも全会一致で可決しました。

### 平成21年度一般会計補正予算(第1号)

経済危機対策に基づく国の補正予算により、地域活性化・公共投資臨時交付金および経済危機対策臨時交付金が創設されたことによる公共事業の追加。3億2193万円を増額し、総額147億7193万円。

### 農業委員

任期満了に伴う農業委員の議会推薦が行われ、田中 正文氏(米浜)を推薦しました。



田中 正文 氏

### 請負契約締結・変更

#### 定住促進住宅地造成工事(第2工区その1)

住宅地17区画、道路、緑道、駐車場等の整備を行う。大和建设(株)と9119万円です請負契約を締結。

#### 定住促進住宅地造成工事(第2工区その2)

住宅地17区画、道路、緑道、照明施設等の整備を行う。西村建設(株)と9131万円です請負契約を締結。

#### 定住促進住宅地造成事業(造成工事)

残土処理区域の伐木、伐木処分費の増加、法面保護の緑化工法の変更、整地工の追加など1087万円を増額し、請負金額3億9333万円に変更。寺井・林特定建設工事共同企業体。



定額給付金の申請期限は10月1日まで。申請漏れが無いように忘れずに申請してほしい。(写真は定額給付金の受け取り会場の様子)

## 総務

委員長 富澤 軒康  
副委員長 林 一夫  
委員 戸坂忠寸計  
// 小田 芳治  
// 辻 武美  
// 久木 拓実

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。6月定例会開会中の主な審議内容等を報告します。

### 定額給付金の申請状況は

**問** 定額給付金の申請状況、プレミアム付商品券の販売状況は。

**答** 6月5日現在、定額給付金は、対象数8181世帯のうち、7832世帯が申請済み。349

世帯が未申請であり、その内訳として、一人暮らし老人が多数を占める。

再度の案内通知や民生児童委員と連絡をとりながら、申請漏れを無くしたい。

プレミアム付商品券の販売は、6月8日現在、1億1332万円、額面で1億2465万円販売した。販売率は31・1%。今後も広報活動をして販売促進につなげたい。

**問** 固定資産税の増額補正の理由は。

**答** 当初予算では徴収率を98・6%で見込んだ。3月末で徴収率が99・5%を見込めるまで上昇したので増額補正となった。

## 保育園再編計画 今後の見直しは

## 教育民生

委員長 南 政夫  
副委員長 寺岡真貴子  
委員 越後 敏明  
// 田中 正文  
// 櫻井 俊一  
// 木村 正男

**問** 小学校は25年に統合と答えが出たが、今後、保育園の再編計画の見直しはどうなるのか。

**答** 堀松保育園は、地域に乳幼児保育園があり、住民に大きな負担が掛からないということがあった。保育園は原則、保護者が送り迎えをする。加茂・下甘田保育園が無くなる。と地域住民に負担が掛かる。

ニュータウンの入居者で保育園に入所する子供の推移を見ながら弾力的に対応したほうが良いと



保護者にとって保育園の再編は大きな問題であり、早期の方向性を示してほしい。(写真は加茂保育園の七夕集会)

の判断で、加茂保育園の廃止を延長した。

**問** 富来の放課後児童クラブは旧富来の体育館も使っている。耐震はどうなっているのか。

**答** 校舎は既に耐震診断は終わっているが、体育館はまだ行っていない。今年度、耐震診断を行う予定である。

委員長 橘 照茂  
副委員長 下池外 巳造  
委員 須磨 隆正  
" 松浦 恒義  
" 山本 辰榮  
" 稲村 幸雄

## 土地購入費の減額理由は

**問** 町道改良舗装事業費の減額はどの道路か。

**答** 町道全体であり、主なものは鹿頭酒見線と大鳥居線である。

**問** 土地購入費の減額は、町道拡幅のため用地の買収交渉をしていたが、相手方の同意を得られなかった。

**答** やっちゃん祭りでは昨年の花火をしたが、周辺地域から苦情はなかったか。

**問** 細部に渡る立入規制をして、周辺地域の区長には理解のお願い、花火の残骸等は生産組合に回収のお願いをした。特に苦情はなかった。



町道改良舗装事業で整備が進む町道(鹿頭酒見線)

## 親しまれる議会広報をめざして

### 議会広報研修会



7月10日、県町議会広報研修会が金沢市内で開催され、講演と技術指導、広報のクリニックを受けました。

当町の議会だより15号については、高い評価をいただきました。

さらに編集技術の向上を目指し、町民の皆さんに親しまれる議会広報を作っていきたいと思います。どうぞご一読ください。

## 生活環境等対策特別委員会

7月17日

羽咋市滝谷町地内の旧羽咋市散弾銃射撃場の汚染対策の取り組みの調査のため、現地を視察し、羽咋市担当課職員から説明を聞きました。

当日は人力による鉛玉の回収作業、調整池の柵の設置なども確認しました。

他にも、梨谷小山産業廃棄物処理立処分場の搬入体制の調査を行いました。



鉛玉の回収作業の様子を調査する委員ら



4月7日、志賀高校の開校式・第1回入学式が挙行されました。今後、魅力ある学校として入学希望者が増えるように町も支援してほしい。



富澤 軒康 議員

志賀高の入学希望者数106人  
どのように認識しているのか

4学級確保は評価したい

教育長

**富澤** 統合初年度として106人と言う入学希望者数、また、中学生の6割近い生徒が、町外へ進学をしようという現実を、どのように認識しているのか。

**教育長** 県と連携して、説明会の開催や情報発信に努めてきたが、106名という入学希望者は誠に残念である。ただ、新規開校で具体的な実績がない中、4学級を確保できたことは評価したい。志賀高校だけの進学を推し進めることはできないが、町に密着しながら、大学進学や実業界への就職に対応できる実力ある高校を目指している。今後、志願者が増加することを強く望んでいる。

## 志賀高の支援策を 早急に行うべきだ

### 振興会を発足し支援する 町長

**町長** 1学年2クラスになるという危険性、支援策を早急にと行うことは、全く同感である。

志賀高校の活性化と高校教育の発展、さらに魅力ある学校づくりの支援を目的に、6月に志賀高校教育振興会を発足する予定である。

町として、振興会に対し、今年度150万円を予算計上し、志賀高校を支援する。

通学費の支援は、高校に調査依頼をして、町内外の全ての生徒に通学費の一部助成ができるか早急に検討したい。また、町の奨学資金の貸付資格の基準の見直しをして志賀高校に就学する生徒を含めることも検討したい。

**富澤** 生徒自身が入学したくなるような魅力ある高校、親が入学させたいような学校とは、どのような学校であるか。

**教育長** 一概には言えないが、志賀高校については、国公立大学を始めとする上級学校への進学、専門的教育を重視する高校を目指すことと考えている。

生徒の望む目標を叶えることができ、学習面だけではなく部活動や生徒会活動に積極的に取り組む教師のいる学校である。

**富澤** 今後、どのように立場指導をしていくのか。

**教育長** 今後、魅力と特色、実力ある学校創りに向け、志賀高校教育振興会活動を充実させ、町と高校が共に育てるとの考え方で、連携強化を進めたい。

**富澤** 教育振興会の今後の取り組みは。

**町長** 今年度は土曜補習授業の補助と教材費の購入、部活動支援を予定している。

**富澤** 現在、町の小学生の児童数は平均して1学年175人くらい。将来、このまま6割の生徒が町外へ進学したら、志賀高校には70人の入学生しか見込めず1学年2クラスとなる。どのように考えているのか。支援策を早急に行うべきだ。



## 散弾銃射撃場跡地問題

# 受身ではなく積極的にやるべき

## 適正な管理と早急な対策実施を求めていく 町長



越後 敏明 議員

**越後** 散弾銃射撃場の鉛の汚染が明るみになったのは平成15年度。これまでに水質の排水対策として、ゼオライトによる浄化装置がなされているが、鉛の弾は、そのままの回収されずにいる。

当然、排水には環境基準を上回る基準値がデータとして記録され、汚染土壌も、区画調査だけされて鉛の回収には一向に手付かずのままである。

この問題の発生源は羽咋市であり、羽咋市に対し、鉛弾の回収、汚染土壌の早期の搬出を求め、また、地区民に対しては、羽咋市からの報告を待つと言った受身的な姿勢ではなく、こちらから積極的にやっていくべきだ。



滝谷地内のゼオライト水質浄化装置の状況を確認する議員。(平成18年6月開催の生活環境等対策特別委員会)

また、昨年度に実施された対策内容および今年度に町が把握している実施計画はどのようなものか。

**町長** 昨年度は、6月に坪野区で調査結果説明会および現地確認作業。3月には羽咋市から町および坪野区に汚染深度方向追跡調査結果の報告があった。

今年度は、羽咋市での緊急雇用対策事業として業務用掃除機で鉛の弾拾いをする人員を雇用、また、汚染土壌の対策工法、措置費用の財源確保、跡地利用等を検討する予定と聞いている。

町としては、住民の健康被害のみならず、風評被害が及ばないよう羽咋市に対して、今後も引き続き適正な管理と早急な対策実施を求めていく。

## 射撃場跡地の埋立処分場案 郡市広域圏の関わりは

## 広域圏では具体的に議論されていない 町長

**越後** 現在使用している郡市広域圏埋立処分場が、やがて満杯に近いと聞く。あと何年、使用できるのか。

**町長** 広域圏が新しい処分場の候補地として、現在の処分場の隣接地と射撃場跡地の2カ所の可能性調査を行った。

**町長** 5年位と聞いています。そのような状況もあり、早く第2処分場の方へ付けをきちんとしなければいけないと考えています。

両候補地とも計画している規模の処分場の建設が可能であるとの調査結果が報告されている。あくまでも可能性の調査結果であり、処分場建設は、広域圏の中で具体的に議論されていない。

**越後** 今、圏域内を見まわしても、新たな処分場を作ることは、大変困難が予想される。

土壌汚染の問題もあり、射撃場跡地での実現性は非常に薄いと思う。

羽咋市が鉛の汚染土壌対策で射撃場の跡地を、新規の埋立処分場とする案が示されている。

羽咋市がどうするのか対応をきちんとしてもらわないと広域圏もなかなか話が進まない。

郡市広域圏組合は、この案に対してどのように関わっているのか。

今後、羽咋市が早く方向付けをするように強く申し入れたい。

# 志賀町を描く美術展 第20回記念賞の作者に聞く!



作品名「風無漁港」



表 辰祐さん  
(中能登町)

このたび、第20回記念賞をいただき、誠にありがとうございます。誠に自然に恵まれた志賀町の漁村の風景を我が故郷のように慕いつつ、これからもずっと描いていこうと思います。

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。昨年の11月には第20回の審査が行われ、次の方が、第20回記念賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。

## 第40回全国ママさんバレーボール大会県予選

# 「志賀はまなす」

## 悲願の初優勝



## TOPIC's トピックス



8月6日から行われる  
全国大会(静岡県)  
に出場します。



監督 藤田 陽子さん

昭和53年に「志賀ママさん」として発足しましたが、平成7年に「志賀はまなす」と改名しました。これまで2度の準優勝で涙を飲みましたが、本年、念願の初優勝を果たし、能登地区からは実に18年ぶりの全国大会出場となりました。選手、スタッフの努力もさることながら、諸先輩方のご尽力、激励、そして何より家族の暖かな愛情と理解、協力あつてのことと感謝しています。火・金曜日の週2回の練習には青年部も加わり、生涯スポーツとして楽しく「和」輪を広がっています。バレーボールに興味のある方は、どうぞお子さんを連れて一度体育館へいらしてください。

### 議会広報特別委員会

委員長	田中 正文
副委員長	富澤 軒康
	橘 照茂
	下池外巳造
	越後 敏明
	櫻井 俊一